

デジタル田園都市国家構想実現会議
WG（第3回～第6回）での検討内容

第3回（日時：令和4年2月4日（金）10：00～12：00）

1 テーマ

デジタル人材の育成・確保、誰一人取り残されない取組について

2 内容

<モデル的な取組に係るプレゼンテーション>

- ・福岡県北九州市（北九州市におけるデジタル人材育成の取組）

<有識者委員からのプレゼンテーション>

- ・石山委員（誰一人取り残されないデジタル社会へ向けて）
- ・井濶委員（地方から見たデジタル人材確保について）
- ・正能委員（地方にひとの流れを生み出すための仕組みづくり）
- ・若宮委員（高齢者のデジタルリテラシー向上に向けて）

<主なご意見>

- ・デジタル人材の育成・確保については、目標に対する進捗を定点観測するなどして評価することが重要。
- ・都市部人材の地方への還流促進に係る支援や、年代やレベルに応じて地域に密着した人材育成等を行い、地域で自由な発想で活動することを支援していくことが重要。
- ・デジタル人材のスキルを定義し、どのような人材を登用すればよいのかなどを、ガイドラインなどで示すことが必要。
- ・中長期的には、地方でデジタル人材を育成し、育成した人材が地方の企業や自治体で活躍するデジタル人材のエコシステムの構築が必要。
- ・誰一人取り残されない取組について、皆で支え合うデジタル共生社会の構築として、ある程度のリテラシーを国民皆が身につけられるような仕組みを作ることが重要。

第 4 回 (日時：令和 4 年 2 月 24 日 (木) 10 : 00 - 12 : 00)

1 テーマ

デジタル基盤の整備について

2 内容

<モデル的な取組に係るプレゼンテーション>

- ・群馬県前橋市、日本通信（株）（前橋市における DX 取組）
- ・北海道岩見沢市（岩見沢市におけるブロードバンド活用）
- ・東京電力パワーグリッド（株）（インフラシェアリングによる基盤整備）
- ・日本電気（株）（データ連携基盤の利用支援）

<有識者委員からのプレゼンテーション>

- ・村井委員（誰も置き去りにしないデジタル化の実現）

<主なご意見>

- ・デジタルインフラは上下水道や橋のように、あまねく整備されるインフラと考えるべき。
- ・デジタルサービスの社会実装にあたって、自治体の主体的・自主的な取組に、産業界・大学も主体的に協力してもらうことが重要。
- ・基盤整備の手法として、必要なサービスを定め、無駄がない取組となるようシェアリングのようなものも活用し、少ない財政負担で進めることが重要。
- ・デジタル実装には、銀行や郵便局、農協など地域の金融機関等との連携が重要。

第5回 (日時：令和4年3月15日(火) 15:00-17:00)

1 テーマ

個別分野におけるデジタル実装にかかる取組について

2 内容

<モデル的な取組に係るプレゼンテーション>

- ・長崎大学（長崎県五島市での遠隔医療の取組）
- ・鹿児島県三島村（離島地域における遠隔教育）
- ・岩手県八幡平市（中山間地域のデジタル活用）
- ・（公財）ソフトピアジャパン（岐阜県大垣市。中小企業のDX促進）
- ・山梨県小菅村（ドローン物流）
- ・香川県三豊市、(株) umari（遠隔診療、教育、交通）

<有識者委員からのプレゼンテーション>

- ・加藤委員（地域の課題解決に向けたDXの推進）

<主なご意見>

- ・ベストプラクティスの取組を他地域に広げていく際に、うまくいかなかったこと、課題や知見の共有も大事。
- ・デジタル実装に関して、いくつかの成功事例があれば良いわけではない。日本全体としての底上げが必要。
- ・各々の地域で直面している課題が異なる。他地域の成功事例をただ真似るのではなく、自分事としてしっかり捉え、トライアンドエラーを行うこと、それを行える環境づくりが必要。
- ・DXを進めるために人材の育成や支援が必要。

第 6 回 (日時：令和 4 年 4 月 4 日 (月) 10 : 00 - 12 : 00)

1 テーマ

デジタル田園都市国家構想を先導する取組について

2 内容

<モデル的な取組に係るプレゼンテーション>

- ・宮城県仙台市、(一社) IMPACT Foundation Japan (官民連携による企業支援の取組)
- ・神奈川県小田原市 (デジタルを活用したゼロカーボンの取組)
- ・新潟県長岡市 (大学等と連携したまちづくり)
- ・静岡県浜松市 (デジタルを活用した持続可能なまちづくり)

<有識者委員からのプレゼンテーション>

- ・富田委員 (DX を活用した地方活性化施策)
- ・野田委員 (ウェルビーイング向上に向けたエコシステムの実現)
- ・湯崎委員 (デジタル田園都市国家構想の実現に必要なこと)
- ・柳澤委員 (デジタル地域通貨の新しい可能性)

<主なご意見>

- ・トライアンドエラー、アジャイルなど、デジタル化の取組はこれまでとは異なる政策形成プロセスであるということを広く浸透させることが大切。
- ・スタートアップにとって、より使いやすい支援とすることが必要。海外の人材や企業も参加できる枠組みも必要。
- ・構想の実現に向け、重要なのは、「今できていないことをできるようにする」ということであり、そのためには、インフラの充実、人材の充実、インセンティブを設けることが重要。
- ・デジタル化の事例を自治体間で横展開するための連携促進が必要。